



## 医療ニーズ:陰洗ボトルの乾燥

医療ニーズ提案部門  
滋賀医科大学 附属病院 看護部



### 「陰洗ボトルを確実に乾燥させたい」

■看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

#### ■ニーズの背景

- 陰部洗浄用のボトルは使用後、洗浄・乾燥させてから再び使用する。(濡れた状態で放置すると細菌繁殖の原因になるので速やかに、完全に乾燥させる必要がある。)
- しかし、大量に使用する上に、ボトル型であるために嵩張り、乾燥させるためのスペース確保が難しい。

#### ■現在の対応方法

- 洗浄後、バスケットに逆さに立てるなどして乾燥させているが、蛇腹部分の内側に水滴が残りやすい。
- 乾燥に時間がかかり、直ぐに使用できない。

#### ■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ベッド上排泄の患者に対して1日1回程度、おむつの交換に合わせて洗浄する。日本における寝たきりの患者数は200万人程度と推定されている。

#### 【イメージ・参考例】現状の工夫例



#### 機能アイデア例

- もっと簡易で、移動可能なスタンドのような乾燥機能を有するもの

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: [hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp)